1回

や学校、 皆さんは、 耳にしたりしていますか? 職場などで、 普段どのくらい、 方言を使った 家庭

はないでしょうか。 方言がよく分からない人も多いので ています。特に、若い世代の中には、 テレビなどで耳にする標準語に慣 標準語での会話が多くなってき

ど、方言が大切な文化として見直さ れてきています。 方言で書かれた民話が出版されるな いる一方、方言番付表が作られたり、 方言がどんどん使われなくなって

ら3語、 らない南部町の方言を、 題して、 していきます。 これから、「南部町方言講座」と 知っているようで意外に知 50音順に例文を挙げて紹介昭部町の方言を、毎回2語か

庭で使ってみてください。 特の表現や語感を楽しみ、 ある方言を習得してみませんか。 この機会に、南部町独自の文化で ぜひご家 独

> 伝えていきたいです。 子ども達にも、この文化を守り、

つ紹介します。 今月は、「あ」から始まる方言を二

風に注意されたことはありませんか。 おじいさんやおばあさんからこんな

今月の例文

包丁ツカア時は、

アバコでヤアト

アイマチスウデ

※ 方言はカタカナで表記しています

怪我をするぞいと 【標準語文】 包丁を使う時は、



今月の方言

アバコ

【標準語】本気でない

アイマチ

【標準語】 一怪我

参考資料 会見地区における方言 西伯町誌



ひとの動き

3月届出分(敬称略) お誕生おめでとう

福く 田だ 舞り 花ゕ 美昌 香 和 清水川

本と 健は 太た 優哲 子也 西

町

Ц *

山ま 本も 華ゕ 央ぉ 西 町

田た 朱カ 音ね 圭 優哲 子也 祐 清水川

森り

金

綾

梅ぁ 原は 凜りん 美正

里樹

田

ごめい福を祈ります

陶す 石い Ц°[†] 塚か み つ 子^ニ 房さ 勲はお 88 86 93 歳 歳 歳 北 朝 方 金

書は のみ載せています。 届け出時に広報への掲載を同意された方 聞か すゑ子 勝っ 91 79 歳 歳 回 天 萬 賀

わたしたちの町 4月1日現在

人口12、026(22)人 世帯数3、957(4)戸 5、653(19)人 女 6、373(9)人





4月の税金・保険料

保育料 納付期限 下水道使用料 軽自動車税 4 月 30 日 木

紙 の 写

という声、 の桜満開の土手で撮影しました。 写真から、「わーい、 表紙は四月六日、 表 聞こえますか すみれ保育園横 咲いたよー」



落

合

元気いっぱい走りました

南部町5月の予定

1	金	ノーテレビデー		
2	±	町民親睦ゴルフ大会 グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部	ふ 医	
3	П		ふ 医	Ø
4	月		多 医	Ø
5	火		ふ 医	Ø
6	水		ふ 医	Ø
7	木			(U
8	金	かきっこクラブ いこい荘 9:30~		
9	土	看護フェア 西伯病院 10:00~12:00	ふ 医	
10	В		ふ 医	
11	月	人権·行政相談 交流会館 13:30~16:00		Ø
12	火	のびのび行事 のびのび 10:00~		
13	水	人権・行政・専門・なんでも相談 しあわせ 9:00~12:00		
		すこやか乳幼児相談 のびのび (受付)9:00~10:00		
14	木	あいあい行事 すみれ保育園 9:30~		(L)
15	金	ノーテレビデー		
		にじいろポケット すこやか 10:00~		
		3 歳児健康診査 すこやか (受付)12:30~13:30		
16	土		多医	
17	H		多医	
18	月			Ø
19	火	ポリオ予防接種 すこやか (受付)9:00~9:30		
		健康講座 西伯病院 13:30~		
20	水	なんでも相談 しあわせ 9:00~12:00		
21	木			<u> </u>
22	金	かきっこクラブ いこい荘 9:30~		
		春の山菜会 レークサイドアリーナ 11:30~		
23	土		多医	
24	B		ふ医	_
25	月			Ø
26	火	乳児健康診査 すこやか (受付)9:00~10:00		
27	水	なんでも相談 しあわせ 9:00~12:00		
28	木	歯科検診・フッ素塗布 いこい荘 (受付)9:00~9:30		<u> </u>
29	金	あいあい行事 すみれ保育園 9:30~		
30	土		<u> </u>	
31	B		<u> </u>	Ø

③・・・ふれあいバス運休日、⑤・・西伯病院休診日、②・・・南部町公民館休館日、図・・町立図書館休館日 ○・・総合福祉センターしあわせ休館日、⑥・・総合福祉センターいこい荘休館日

震災体験を学ぶ

3月14日、役場天萬庁舎で震災体験学習会(主催:あいみ手間山地域振興協議会)が行われました。平成12年の鳥取西部地震を風化させることなく、教訓として活かしてほしいと、南部中学校の生徒ら32人が参加しました。

参加者は、まず地震の揺れを体験する起震車「グラットくん」に乗り込み、震度6の揺れを体感。鳥取西部地震の体験談を聞き、緊急時の対応、心構えなどを学びました。



起震車で揺れを体験